

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業(経常事業))

事業の概要	事務事業名	予防接種事業						担当部	健康福祉部					
	会計区分	一般会計						担当課	保健センター					
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	予防係						
	基本施策・展開方向	2	保健・福祉		6	健康づくり		1	心と体の健康づくりへの取り組みを支援します。					
	予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	予防接種法												
	目的	何・誰を対象に	市民											
		どのような状態にするのか	感染症の発生減少と蔓延防止のため、予防接種を実施して市民の健康維持を図ります。											
	内容(手段)目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成29年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市全額負担(子供) BCG、B型肝炎、ヒブ、肺炎球菌、4種混合、ポリオ、2種混合、水疱瘡、麻疹風疹混合、日本脳炎、子宮頸がん予防 ○市一部負担(大人) 肺炎球菌、インフルエンザ ○費用助成制度 肺炎球菌(大人)、おたふく(子供)、風疹(大人)、特別理由再接種(子供) <p>◆平成29年度直接経費(決算見込み)の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費15千円 ・旅費9千円 ・需用費3,016千円 ・役務費2,169千円 ・委託料384,530千円 ・補助金 12,435千円 (うち肺炎球菌ワクチン費用助成金1,265千円) <p>◆平成30年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市全額負担(子供) BCG、B型肝炎、ヒブ、肺炎球菌、4種混合、ポリオ、2種混合、水疱瘡、麻疹風疹混合、日本脳炎、子宮頸がん予防 ○市一部負担(大人) 肺炎球菌、インフルエンザ ○費用助成制度 肺炎球菌(大人)、おたふく(子供)、風疹(大人)、特別理由再接種(子供) ○☆子育て支援アプリ <p>◆平成30年度直接経費(予算)の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費62千円 ・旅費20千円 ・需用費4,030千円 ・役務費2,195千円 ・委託料441,237千円 ・使用料594千円 ・補助金 18,249千円 (うち肺炎球菌ワクチン費用助成金2,250千円) 												
	受益者負担	有	○定期予防接種 インフルエンザ1,200円、肺炎球菌ワクチン2,500円(65歳～100歳までの5歳刻) ○任意予防接種 肺炎球菌ワクチン5,000円超過分(70歳以上)、風疹6,000円超過分 MR9,500円超過分、おたふく6,100円超過分											

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30予算額		
事業費	費用	直接経費	千円	428,584	404,356	399,632	402,178	466,387	
		正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	7,486	7,486	7,486	7,486	7,486
		その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	7,486	7,486	7,486	7,486	7,486
	費用合計	千円	443,556	419,328	414,604	417,150	481,359		
	対前年比	%	—	94.5	98.8	100.6	115.3		
財源	一般財源	千円	420,039	393,532	388,546	390,229	452,325		
	国・県支出金	千円	10	57	58	57	62		
	その他財源	千円	23,507	25,739	26,000	26,864	28,972		

業	成果指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30
	業	二種混合2期の接種勧奨回数	回	目標	1	2	2
実績				1	1	2	2
水痘の接種勧奨回数		回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1
績	活動指標名	単位	H26	H27	H28	H29	H30
	二種混合2期の接種率	%	目標	90.0	90.0	90.0	90.0
実績			63.6	49.1	89.9	72.9	
水痘の接種率	%	目標	90.0	90.0	90.0	90.0	
		実績	35.1	57.2	87.0	81.2	

事業の評価	平成29年度	事業の達成状況	二種混合2期は11歳以上13歳未満の間で1回接種をします。子どもが成長したことにより親の就労が多くなることや子どもも学校や課外活動などで忙しい理由から接種を忘れる状況があります。また、水痘は1歳以上3歳未満で2回接種しますが、1回目の接種から3月間隔をとる必要がありますが、予防接種が過密の状態であるため、2回目の接種を忘れる状況があります。平成29年度の接種率は、両方とも平成28年度の接種率と比べますと低下していますので、接種勧奨通知の回数を増やすなどの対応をする必要があると考えています。					
	平成29年度	事業実施における課題	接種率を上昇させることが課題であるが、二種混合2期は、1回目の勧奨通知を11歳誕生日の翌月、2回目は12歳誕生日の通知を継続します。また、水痘は、1回目の勧奨通知を1歳の誕生日の前月に加え、新たに2回目として2歳6月頃に通知します。勧奨通知を数回実施することにより接種率の向上を図っていきます。					
	平成30年度	30年度における実施内容や結果見込み	予防接種全体の接種率の向上を図るには、接種勧奨通知だけでなく予防接種の必要性を広く市民へPRする必要があります。市広報やホームページへの記事掲載は勿論のこと、保護者へのPRを保育園や学校などに協力を働きかけるようにします。 また、平成30年9月から子育て支援アプリを提供開始しますが、このアプリに予防接種スケジュール機能があり、多くの保護者が活用していただくことにより接種忘れを防ぐことができ接種率上昇に寄与してくれると期待しています。					
	平成31年度以降	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
削減額・削減対象		事務事業評価による額	1,265	千円	予算区分	18	節	節
判定理由・削減内容		肺炎球菌ワクチン予防接種について、平成26年10月から定期接種(市が負担し実施する予防接種)とし、対象者を65歳のみとしたが、特例措置で平成31年3月31日までの5年間に限り65歳から100歳までの5歳刻みの年齢者も対象として定期接種を実施してきた。また、これと併用し、予防接種を受けてない70歳以上を対象者として費用助成も実施してきた。 平成31年4月から、定期接種の対象者は65歳のみとなるが、今まで定期接種と費用助成を併用したことにより、65歳以上の市民が1回以上の接種機会が設けられ接種が終了していると考えられるため費用助成を終了します。						
平成31年度以降	31年度以降の実施内容	各種予防接種は、予防接種法により現状どおり継続します。 肺炎球菌ワクチン予防接種は、市独自の費用助成は終了しますが、予防接種法により定期予防接種(市実施予防接種)として65歳を対象として継続して実施されます。						